



API を使用してデータを統合

Digital Advisor

NetApp
February 05, 2026

目次

API を使用してデータを統合	1
Digital AdvisorAPIサービスについて学ぶ	1
API カタログ	1
API を使用する	1
Digital Advisor API サービスを使用するためのトークンを生成する	2
Digital Advisor APIカタログを使用してAPIを実行します	2
GraphQL API にアクセスする	2
REST API にアクセスする	3

API を使用してデータを統合

Digital Advisor API サービスについて学ぶ

Digital Advisor API Servicesは、自動化機能を使用してワークフローを効率化します。API サービスは、20 以上の異なるサービス領域にグループ化された 100 を超える API エンドポイントを記述した *API カタログ* を提供します。これらの API はネットアップのお客様が利用でき、システム情報、ストレージ効率、パフォーマンス、健全性、アップグレードなど、さまざまな目的に利用できます。



NetApp Digital Advisor は、パフォーマンス、柔軟性、スケーラビリティを向上させるために、主要な API プラットフォームとして REST API から GraphQL に移行しています。移行は段階的に行われ、REST API と GraphQL API の間に重複期間が設けられます。廃止予定の REST API ごとに、Digital Advisor API カタログに廃止通知が公開され、その特定のエンドポイントを GraphQL に移行するのに 6 か月かかります。廃止予定のAPIのリストを確認するには、*API サービス → 参照 → 廃止予定のAPI*に移動します。

APIは、プログラムによってDigital Advisorにアクセスし、コンピューティング環境にデータを戻すことができる簡単なコードを記述できるインターフェイスです。Digital Advisorに毎日連絡し、関心のある分野の最新データを返すような方法でコードを書くことができます。その後、このデータを使用してチケット処理システムにデータを入力したり、独自のダッシュボード、Web ページ、レポートを作成したりできます。Digital Advisor API Catalogには、コードサンプルと機能の両方が用意されており、ブラウザでAPIを試すことができます。

API による自動化は、毎日または毎週のタスクに効率性と正確性を追加する優れた方法です。リソースが解放され、より複雑なアクティビティの実行や新しいワークフローの自動化が可能になります。たとえば、修正が必要なシステムヘルスリスクがある場合は、少なくともDigital Advisorからのそれらの項目のプルアウトを自動化し、チケットシステムにプッシュすることができます。

API カタログ

ページ上部の切り替えボタンを使用すると、2つのモードを切り替えてカタログを表示できます。コードビューでは、必要な入力パラメータ、戻りデータの内容と形式、およびコードサンプルに焦点を当て、ユーザーがコードを適切に設定し始めるようにします。Experiment ビューでは、メインの API Services ページから取得した生成されたトークンを使用して、ブラウザでAPIを「試してみる」ことができます。

どちらのビューでも、左側のナビゲーションペインを使用して、使用可能な項目を参照できます。項目はサービスごとにアルファベット順に分類されています。特定のサービス内で、見出しを展開すると個々の API エンドポイントが表示されます。サービスヘッダーまたはAPI エンドポイントをクリックすると、中央のペインにあるカタログの該当するセクションに移動します。

API を使用する

認証され、トークンを生成できるようになったら、トークンを利用して、プログラムによるクエリを作成したり、データを取得したりできます。API カタログ内からAPIをテストして、クエリの仕組みと返されるデータのタイプを一元的に確認することもできます。これは、システムでコードフレームワークを構築する前に、API がどのように機能するかを理解するのに役立ちます。

Digital Advisor API サービスを使用するためのトークンを生成する

API サービスへの登録やトークンの生成は簡単です。

手順

1. [* クイックリンク * (Quick Links *)] メニューから [* API サービス * (API Services *)] をクリックします。
2. [*Register] をクリックします。
3. 承認フォームに必要事項を入力し、[Submit] をクリックします。

アクティブ化は自動的に行われ、瞬時に行われます。Digital Advisor APIの使用が許可されると、プログラムによるAPI呼び出しに使用するトークンを生成できます。これらのトークンを使用して、API カタログ内から「試してみよう」を実行することもできます。プログラムによって取得されたトークンは、常にアクセストークンとリフレッシュトークンの2つのセットで構成されます。アクセストークンは、すべてのAPIを正常に使用するために渡される必要があります（ただし、リフレッシュトークンを使用すると、プログラムによって新しいトークンセットを取得できます）。

4. [Main API Services] ページで、[Generate Token] をクリックしてアクセストークンを表示およびダウンロードし、トークンを更新してAPIを呼び出します。

ポータルでは、1つまたは両方のトークンを複数の方法でセットに保存できます。クリップボードにコピーしたり、テキストファイルとしてダウンロードしたり、プレーンテキストで表示したりすることができます。



あとで使用できるように、アクセストークンをダウンロードして保存し、トークンを更新する必要があります。アクセストークンは、生成とリフレッシュトークンの1時間後に期限切れになります。トークンは、7日ごとに再生成し、アプリケーションにインストールする必要があります。これを行うには、アプリケーションにログインする必要はありません。ただし、90日が経過したら、アプリケーションにログインして新しいアクセストークンと更新トークンを取得する必要があります。

Digital Advisor APIカタログを使用してAPIを実行します

API カタログを使用すると、各カテゴリ内のカテゴリや使用可能なAPIを参照できます。

有効なアクセストークンを使用して、必要なフィールドの入力を修正し、APIのテスト呼び出しを実行できます。

GraphQL API にアクセスする

手順

1. [* クイックリンク * (Quick Links *)] メニューから [* API サービス * (API Services *)] をクリックします。
2. クリック["参照"](#)API カタログ アイコンの下にあります。

API カタログが表示されます。

3. **GraphQL** をクリックしてドキュメントを確認します。
4. すぐに実行できるサンプルクエリを使用してGraphQL APIを試してみてください。"[Digital AdvisorGraphQL Studio](#)"。
5. APIリクエストのヘッダーの認証フィールドを選択してユーザートークンを提供します
6. 必要な変数を提供する
7. クエリを実行して出力を確認する

REST API にアクセスする

手順

1. [* クイックリンク * (Quick Links *)] メニューから [* API サービス * (API Services *)] をクリックします。
2. クリック"[参照](#)"API カタログ アイコンの下にあります。

API カタログが表示されます。

3. *ActiveIQ-Public*をクリックし、任意のAPIを選択します。
4. ページの上部で、トグルを「実験」にスライドします。
5. 左側のナビゲーションでカテゴリを展開し、任意の API を選択して詳細情報を表示します。
6. API を展開します。
7. 右側の [* Try it Out * (試してみてください *)] ボタンをクリックします。
8. 必要なパラメータを指定し、* Execute * をクリックして結果を表示します。

また、API の * Responses * セクションを調べて、返されるデータをよりよく理解することもできます。* 値の例 * をクリックしてデータの形式を表示するか、* モデル * をクリックし、キャレットをクリックしてセクションを展開し、各エレメントの定義を表示できます。

トグルを * コード * 表示にスライドさせると、さまざまな言語でコードサンプルを表示できます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。